

「弘前市立小・中学校の教育改革に関する基本方針」に係る 第3回地域意見交換会会議録

中学校区:第三中学校区

月 日:平成27年10月29日(木)

時 間:18:30~20:00

場 所:第三中学校 体育館

参加人数:21名

<記録>

番号	質問等の要点	回答内容
1	ICTを活用して、不登校の児童生徒が自宅で授業を受けられると良いと思う。	【意見等】
2	障がいのある児童生徒への配慮のためにICTを整備してほしい。	平成25年度から3年間、弘前市ではインクルーシブ教育（障がいのある子どももいない子どもも、合理的配慮のもとできるだけ同じ場で共に学ぶことができる教育環境）を実践的に研究しています。第三中学校区では、ICTを活用した実践的研究を行っています。
3	ICTを活用した成果は出ているのか。	学力テストなどの数字的な成果については検証中です。ICTを活用している教員の話では、子どもたち全員が授業に集中し、積極的に参加できるという点で成果が出ていることを聞いています。
4	ICTの整備には、税金がかかっているので、きちんと成果を報告してほしい。	モデル校における活用の成果は、調査報告書にまとめ公表したいと考えています。
5	地域コーディネーターとは何か。	地域の人材と学校とをつなぐ役割を担う人です。
6	子どもたちの問題行動は、家庭環境に起因することが多いと思う。地域コーディネーターは、各家庭のプライベートな問題まで関わるのか。	各家庭ではなく、あくまでも地域の人材と学校間をつなぐコーディネータ的な役割です。
7	ICTを活用したモデル校の授業を見学し、素晴らしいと感じた。ただし、そのための教材作りが教員の負担にならないかが心配である。	教員の負担を軽減するために、教育委員会ではICT支援員の配置を計画しています。教材作りが負担にならないよう、教員等が作成した教材等をデータベース化し、教材の共有化を図っていくことも検討していくこととしています。
8	地域コーディネーターの導入には負担を感じている。どのような人を選ぶのか。	多くの地域の情報を持っていて、学校の状況にも詳しい人を想定しています。また、研修の機会を設けるなど人材の育成も行っています。また、一人の負担が大きくならないようにコーディネーターは複数人によるチームでの配置を考えています。

番号	質問等の要点	回答内容
9	地域コーディネーターは、子どもたちの悩みを聞くこともあるのか。	子どもたちの悩みを聞く役割としては、現在、心の教室相談員やスクールカウンセラーなどがいるため、地域コーディネーターが悩みを聞くことは想定していません。
10	学校には、子どもの話を聞いてくれるスクールソーシャルワーカーが必要と感じている。	現状では、スクールソーシャルワーカーは中南管内に2名、心の教育相談員が16名配置されています。更にスクールカウンセラーや教育相談チームが様々な相談に対応しています。
11	学区外就学が認められることは保護者の立場としては有難いが、学区外就学を許可すると学級編制に偏りが出ないか心配である。	当市は学区制なので、基本的に指定校へ入学することとなり、特別な場合のみ学区外就学を認めています。学区外申請も含め、最終的に就学した学校の人数を基準に学級編制を行っています。
12	第三中学校区では、学区の見直しは実現可能だが、小中一貫システムと学校システム、ICT3点セットの導入は難しいと感じている。	【意見等】
13	基本方針の中で「ファシリティマネジメント」という文言が難しく、辞書を引いてようやく理解した。	【意見等】
14	小中一貫教育システムの導入については、石川地区や船沢地区で行なうと報道されていたが、いつから実施するのか。	1つの中学校区に1つの小学校や、1つの中学校区に複数の小学校があるパターンに分けて、現時点では平成28年度から4中学校区程度を調査研究地区として実施してきたいと考えています。
15	特別な支援を要する子どもの人数が増えている。小・中学校に特別支援学校の免許を持っている教員を増やしてほしい。	【意見等】
16	文京小学校の一部の学区の見直し案には大賛成である。この地域ではみんな第三中学校へ進学したいと思っている。早く見直しをしてほしい。	【意見等】
17	大成小学校には、特別な支援を要する児童が通級しており、同じ学区の第三中学校へ進学すると思われるが、施設面での対応はしているのか。	学びの連続性から、第三中学校へ進学するのが望ましいと考えています。第三中学校の施設面での対応を具体的に検討しているところです。
18	松原東一丁目の通学区域についての具体的な内容は。	松原小学校と南中学校区であり、距離的な理由から第三中学校への学区外就学ができる特別許可区域となっています。中学校だけでなく、小学校のときから第三中学校区にある文京小学校へ就学できるよう、特別許可区域の要件緩和を検討していきたいと考えています。
19	細長いエリアである品川町は、第三大成小学校と大成小学校の学区に分断されているが、細長く並行する松森町が全て第三大成小学区なのはなぜか。	第三大成小学校を新設した時に、各町会ごとに意見を聞きながら学区を定めた経緯があります。今は状況も変わっているので、地域の意見を聞きながら必要に応じて学区の見直しを検討したいと考えています。